

## 「海峡横断プロジェクト基礎検討 WG」の設置及び委員公募

2022 年度会長プロジェクト「土木グローバル化総合委員会」の下で活動を開始した「土木技術者の国際化実践小委員会」では、委員自ら海外調査団を計画、派遣する等、世界の最新動向を把握するとともに、それらの調査結果に基づいて「Net Zero 橋梁 WG」を立ち上げる等、実践的な取組を進めています。

この度、それらの活動を発展させ、カーボンニュートラルを考慮した大規模建設プロジェクトの事業評価の実践を対象とした「**海峡横断プロジェクト基礎検討 WG**」を立ち上げることになりました。これは、従来の建設技術やコストといった評価項目に加えて、近年世界的に必須となったカーボンニュートラルを考慮した事業評価について調査、研究することを目的としています。

この機に、活動をさらに拡大、充実する目的で、昨年度からの継続メンバーに加えて新たなメンバーを増員するために、本小委員会にご参加いただける方を公募します。奮ってご参加ください。

本 WG の目的および内容は以下の通りです。

### 1. WG

- ・海峡横断プロジェクト基礎検討 WG

### 2. 背景と目的

当小委員会が 2024 年 4 月に実施した海外調査の結果、特に欧州におけるカーボンニュートラルを考慮した設計及び施工の最新動向を確認した。これを受けて 2024 年 6 月に「NetZero 橋梁 WG」を設置し、橋梁上部構造を対象としてカーボンニュートラルを考慮した試設計と、それらの結果に基づく基礎的な検討を行ってきた。この度、ここまでの研究成果をさらに発展させるために、対象を海峡横断プロジェクトに広げるとともに、設計段階のみならず施工段階や供用段階（維持管理段階）も含めた事業全体に拡大し、**過去の事業評価では行われてこなかったカーボンニュートラルの評価を加味**することで、これからの時代に適合した事業評価を実践することを目的とする。

また、こうした事業評価手法のみならず、対象とする海峡横断プロジェクトにおいて、橋梁、トンネルに続く**第 3 の海峡横断技術**として注目されている「海中トンネル」を対象構造物とし、新たな構造技術の調査、研究にも取り組む。

これらの国境を越えた情報収集や、既成概念に囚われない能動的思考を実践することで、将来の建設事業を切り開く国際的な人材すなわち、**自ら創造して行動できる土木技術者の育成**することを目

的とする。

### 3. 対象者

自ら関心を持ち、積極的に活動していただける方。土木学会の会員・非会員は問わない。専門分野にも拘らず、土木業界以外に所属する方でも受け入れる。ここで、これまでの他 WG の参加条件と同じく、当 WG メンバーは自動的に小委員会の委員も兼務していただく。

### 4. 開催方法

- ・ 小委員会は概ね1回/月の頻度で開催する予定。開催形式は土木学会での会議（集合形式）を基本とする。ただし、遠方からの参加等に配慮して Web 会議も補足的に併用する。
- ・ WG 活動は、小委員会とは別に活動内容や状況に応じて開催する。WG でも開催方式は土木学会での会議（集合形式）を基本とする。また、外部でのヒアリングや意見交換等も開催する予定。

### 5. 活動期間

- ・ 2024年10月～2025年12月※

※ 当面は活動期間を約1年間とするが、今後の活動内容を踏まえて第2期以降を継続することもある。その場合、委員は再募集し、継続参加も可能とする。

### 6. 費用負担 : 自己負担

### 7. 応募方法

- ・ ①氏名、②所属、③連絡先（E-mail 及び電話）、④特に関心のあるテーマを自由書式にて記載の上、下記の応募先まで E-mail にて連絡して下さい。その際、件名は「海峡横断プロジェクト基礎検討 WG への参加応募」とご記入下さい。
- ・ 期限 : 2024年10月30日（水）

### 8. 問合せ・応募先

- ・ 小委員長 : 小沼恵太郎 (mail:keitarou.konuma@tk.pacific.co.jp; tel:090-7203-0998)  
パシフィックコンサルタンツ株式会社 シニアテクニカルディレクター

以上